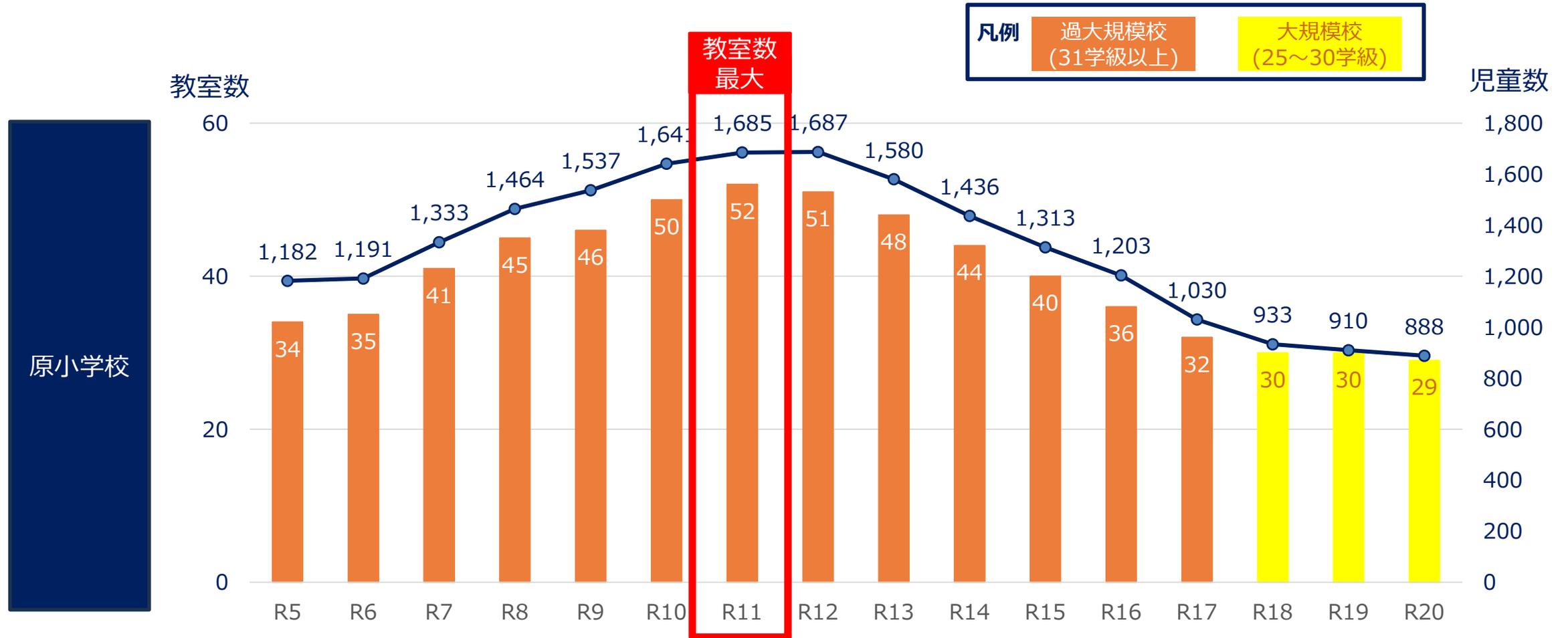


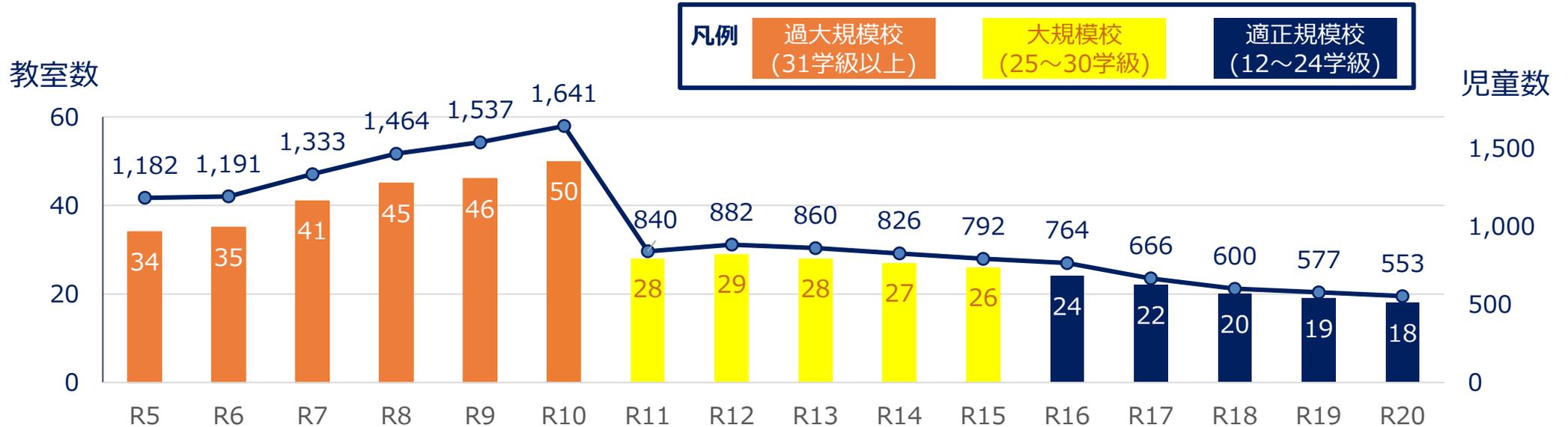
## 原小学校の分離新設：児童数の推移見通し



出典：令和6年度推計

# 原学校の分離新設：分離新設時の児童数推移シミュレーション

原小学校  
(分離  
新設後)

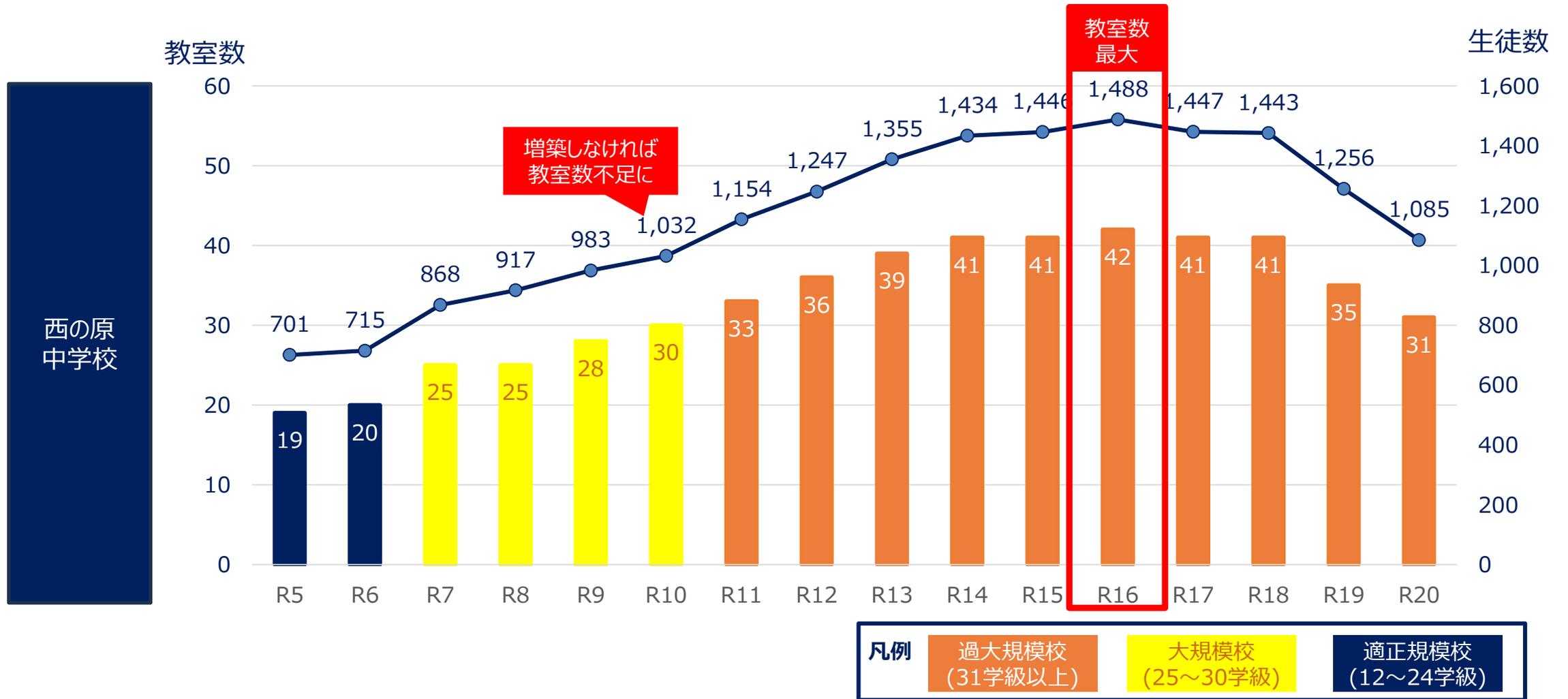


新設  
小学校

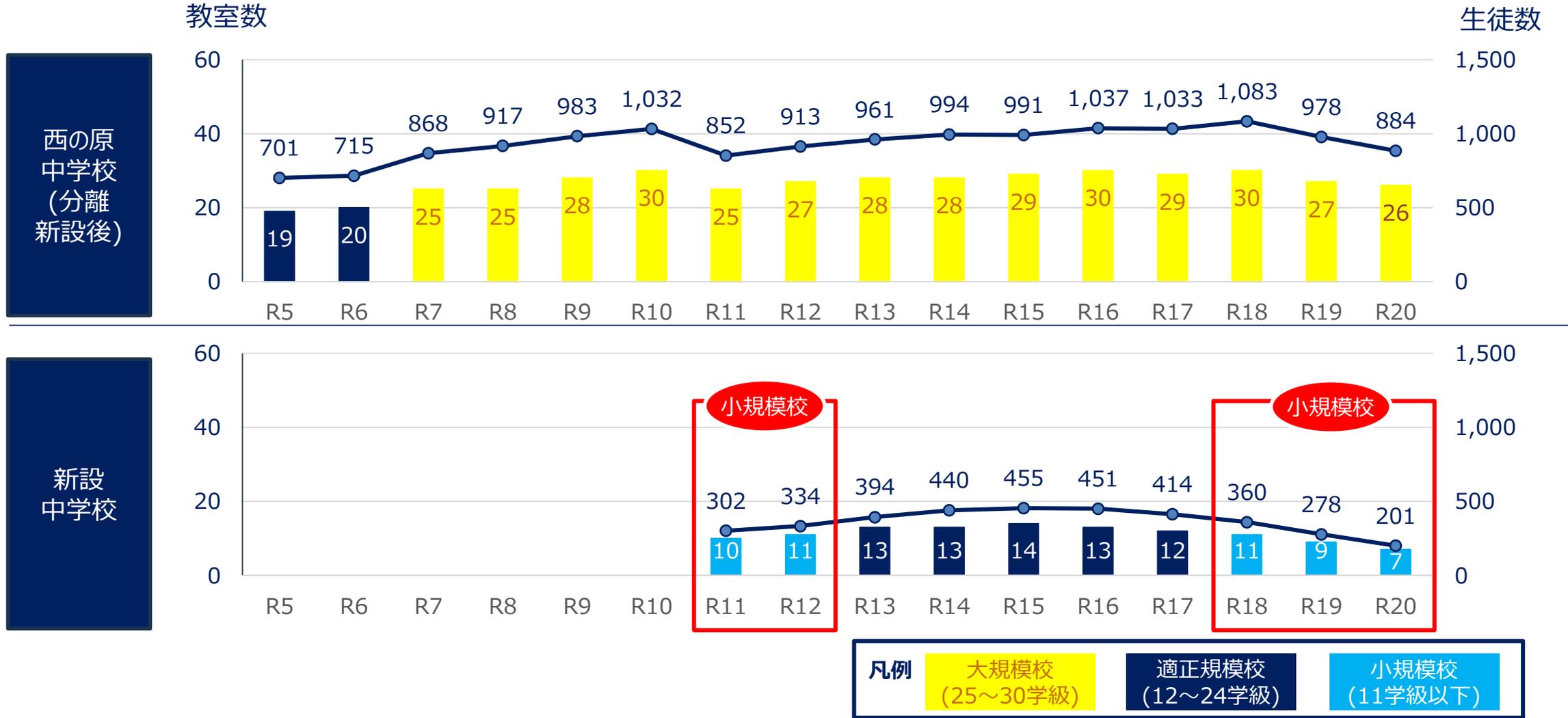


出典：令和6年度推計より作成。東の原地区を新設校の対象学区とする前提

## 西の原中学校の分離新設：生徒数の推移見通し



# 西の原中学校の分離新設：分離新設時の生徒数推移シミュレーション



出典：令和6年度推計より作成。新設中学校は、令和11年4月に開校、新設小学校と同一敷地に整備し、東の原地区を対象学区とする前提

# 義務教育学校の新設

## 個別の対応方針（案）

## 総合的な対応（案）

原小学校

- 東の原地区を分離し、新設校を設置  
(教室数27教室)

### 変更前

西の原中学校

- 生徒数の増加に伴い、増築棟を新設  
(教室数) 20教室 + 特別教室

### 変更後

- 生徒数の増加に伴い、増築棟を新設  
(教室数) 10教室 + 特別教室  
※令和9年7月完成を目指す
- 東の原地区を分離し、新設校を設置

義務教育学校

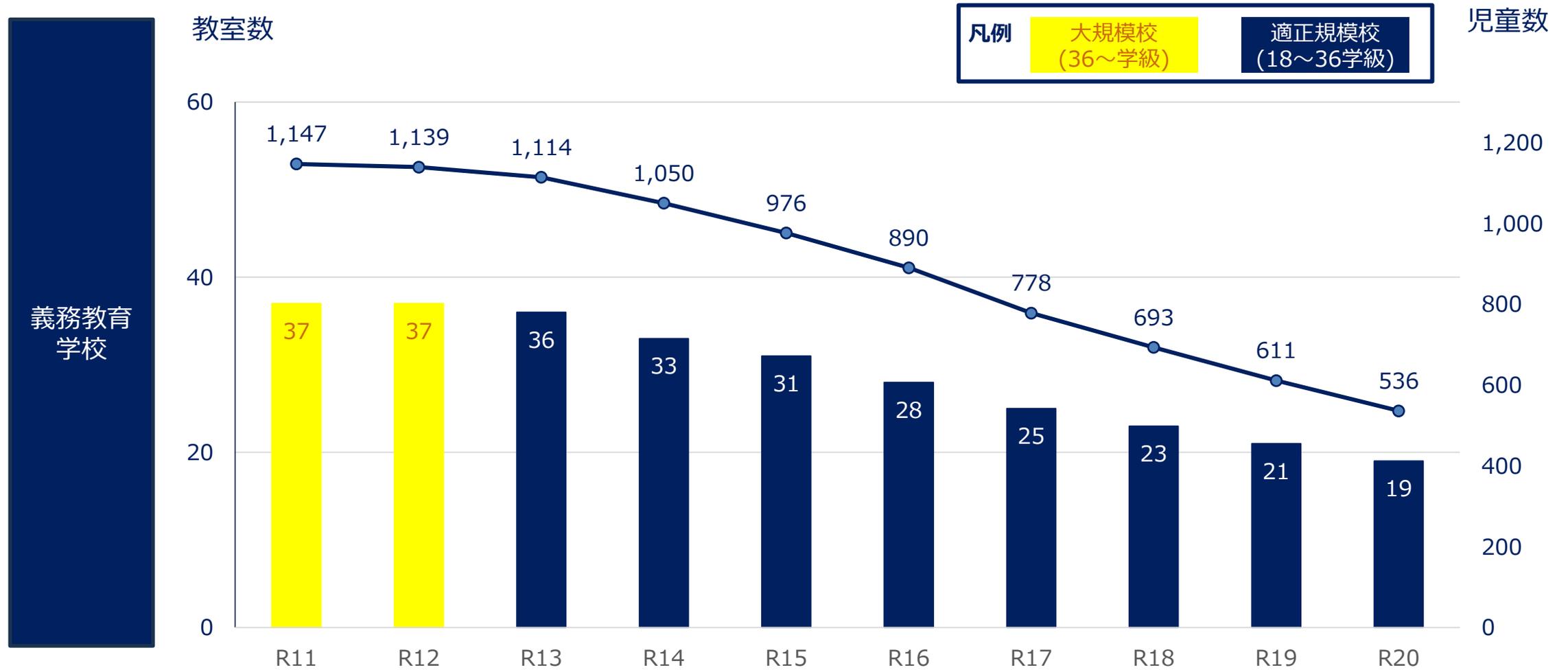
### (仮称) 東の原義務教育学校

- 原小学校及び西の原中学校において、東の原地区を分離し、義務教育学校を設置  
(教室数) 前期課程 27教室  
後期課程 10教室

### 副次的効果

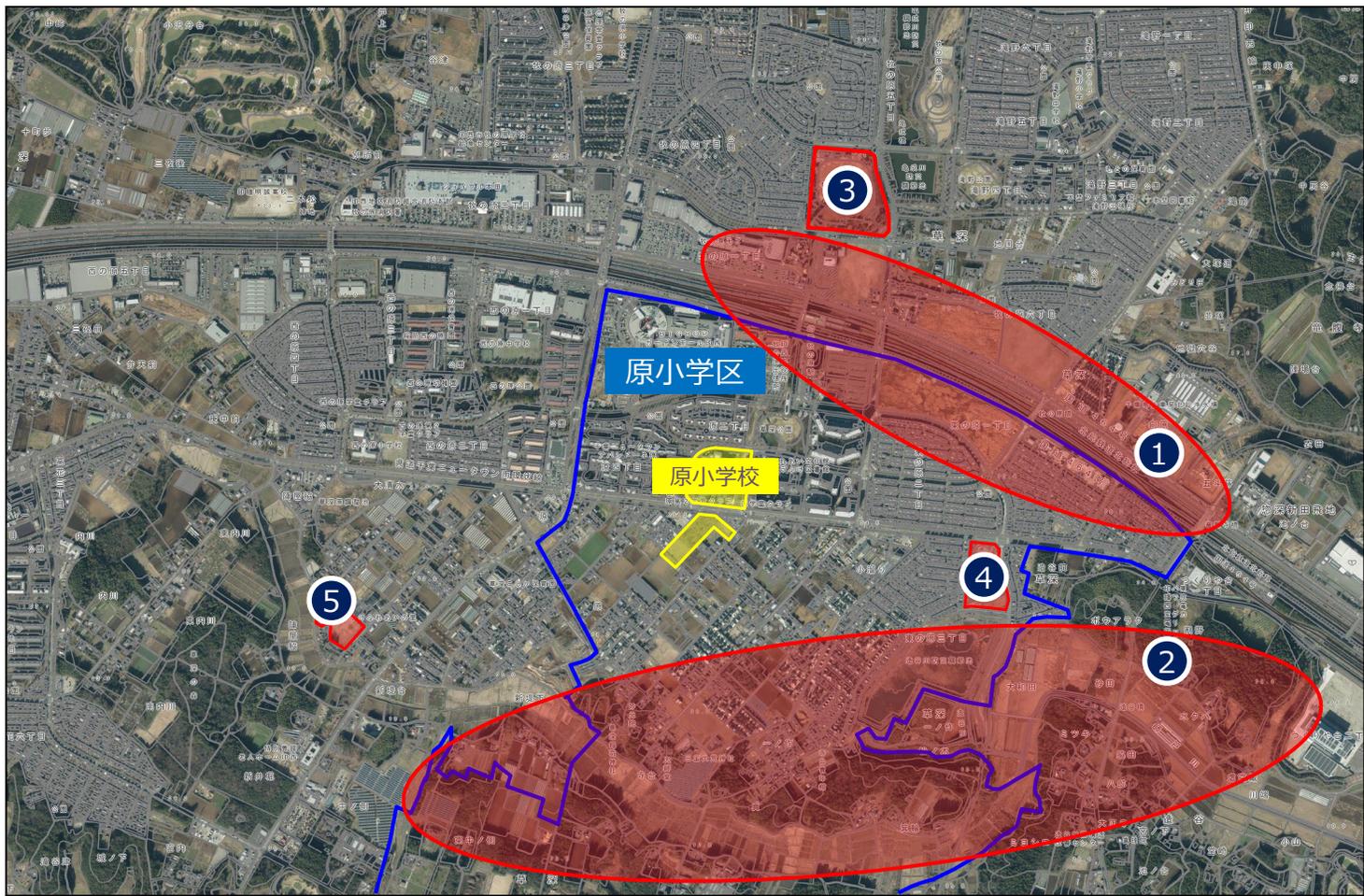
- ピーク時に開校となるが、減少枠に牧の原駅圏の児童・生徒数の受け入れ可能
- 特色のある教育を行うことにより、特認校制度を設定し、牧の原駅圏外からの通学も可能

## 義務教育学校：児童・生徒数の推移見通し



出典：令和6年度推計より作成。東の原地区を新設校の対象学区とする前提

# 用地に関して：建設予定地



候補地	所有者/面積
1 国道464号線 沿線エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者／千葉県</li> <li>～約55,000㎡</li> </ul>
2 草深地区周辺 又は 隣接地	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人</li> <li>～約27,000㎡</li> </ul>
3 牧の原公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>印西市役所</li> <li>約50,000㎡</li> </ul>
4 東の原公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>印西市役所</li> <li>約19,000㎡</li> </ul>
5 そうふけふれあいの里 (旧草深小)	<ul style="list-style-type: none"> <li>印西市役所</li> <li>約13,500㎡</li> </ul>

# 用地に関して：候補地の評価

候補地	個別評価項目					総合評価	
	用地確保	インフラ整備	経費	通学/安全性	合意形成		
① 国道464号線沿線エリア (民/県有)	△	○	△	○	○	▶ △~○	<p>総じて評価は高いが、以下の点留意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用地確保：地権者の意向に依存</li> <li>• 経費：市有地整備に比べ用地取得費用等発生</li> </ul>
② 草深地区周辺又は隣接地 (民有)	△	×	△	△	○	▶ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 用地確保：用地取得は地権者の意向次第</li> <li>• インフラ整備：調整区域であり上下水道・排水等の整備に時間を要す</li> </ul>
③ 牧の原公園	×	○	○	△	△	▶ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 用地確保：災害時の広域防災拠点であり、代替地の確保が求められる</li> </ul>
④ 東の原公園	○	○	○	○	×	▶ ×	<p>総じて評価は高いが、以下の点留意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 合意形成：公園施設であり、周辺住民や市民の皆様からの合意を頂く必要</li> </ul>
⑤ そうふけふれあいの里 (旧草深小)	×	△	△	×~△	○	▶ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 用地確保：施設規模として十分な教室の確保が難しい。既存機能の移転先確保も必要</li> <li>• 通学/安全性：学区外であり通学にも障害あり</li> </ul>

第1候補地

第2候補地

東の原公園については、「第2候補」とさせて頂いていましたが、その後、市民の方々から頂いた意見を踏まえ、建設予定地を第一候補地としました。

# 義務教育学校の学区に関して

現状の候補用地の立地を勘案すると、東の原地区（1～3丁目）を学区として設定することが適当と考えられます

